

2015 年度後期 専攻教育改善委員会 議事録

1. **開催日時** : 平成 27 年 3 月 23 日 (月) 11:25~12:30
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 常勤教員 : 金利昭, 沼尾達弥, 呉智深, 横木裕宗, 山田稔, 原田隆郎, 井上涼介, 信岡尚道, 村上哲, 熊澤貴之, 平田輝満, 車谷麻緒, 一ノ瀬彩
(全常勤教員 15 名のうちの 14 名が出席)
(常勤教員のうちの欠席者 : 藤田昌史)
非常勤教員 : なし, 教務職員 : なし

1. **応用水理学特論構造工学特論 (信岡)**
 - ・ 自宅学習時間を 4 時間想定で課題を出したが、難しかった。今後は 2 時間程度を目標にしたい。
 - ・ 前半は宿題を出題したが、後半は最終レポートに直結するように変えた。
2. **土木材料工学特論 (沼尾)**
 - ・ 受講者数が多いが、学生の理解度にばらつきがあった。
 - ・ 計画系の学生へのフォローが難しかった。興味のある学生はよく取り組んでいた。
3. **交通計画特論 (山田)**
 - ・ 受講者数が増えた。
 - ・ 前半のテーマ設定は学生の満足度が高かった。
 - ・ 他の研究室の学生の受講者も多いため、後半の課題の難易度を低めに設定した。
 - ・ 自宅学習時間を増やせるように課題の難易度は少し高くしても良い。
4. **水質工学特論 (藤田 代理横木)**
 - ・ 学生の理解度を高めるために、授業中に学生への問いかけをした。
 - ・ 次年度は英語での授業として登録。
5. **リスクマネジメント特論 (平田)**
 - ・ パワーポイントを使わず、板書で講義を行った。
 - ・ 学生の理解度も昨年度より向上した。
6. **景観まちづくり特論 (熊澤)**
 - ・ 講義と 2 つの課題を出題した。調査・提案型の課題とした。
 - ・ 現地調査を 1 日ばかりで実施したが大変だった。
 - ・ 学外へのフィールドワークの場合は学務へ届け出る。
7. **国土空間情報特論 (桑原)**
 - ・ 昨年に引き続き、応用利用について実務者による講義を行い、評判が良かった。
8. **都市システム工学演習Ⅱ・サステナビリティ学特別演習Ⅱ、都市システム工学研究Ⅱ・サステナビリティ学特別研究Ⅱ**
 - ・ 各研究グループより、別途資料を用いて報告が行われた。
 - ・ 例年通り実施した(材料、構造、地盤、水圏)。
 - ・ 来年度に海外発表を実施できるように準備している(計画)。
 - ・ PDCA のチェック機能として学生アンケートを実施するか今後検討する。

9. 都市システム工学学外実習、サステナビリティ学インターンシップ（山田）

- ・ 今年度の履修者は特に多かった.今後も続けていきたい.
- ・

【大学院】 その他、今後の検討内容

- ・ 研究や授業等で個別に学外に出るとき(特に遠路や長期滞在)等、必要に応じて学務へ手続きを行う。共同研究等で学生1人が学外に出る場合は適宜事務との交渉も必要である。
- ・ 授業内容の難易度については、他分野の学生への対応を検討して設定する。
- ・ 留学生にむけた英語での授業対応。
- ・ 都市システム工学演習Ⅱ、都市システム工学研究Ⅱ、サステナビリティ学特別演習Ⅱ、サステナビリティ学特別研究Ⅱにおいて PDCA のチェックとして学生アンケートを実施するか今後検討する。

以上